

地域の源 私たちの町内会 Vol.⑧



石積町内会は、明治15年に黒川郡石積村から始まり、平成6年に名称を石積部落会から石積町内会と今

に至っています。

石積地区は、山、川、水田等自然豊かで、以前から大きく変化することなく農村の原風景を今も残している“ふるさと”を感じられる地区です。

自然に囲まれている地区の特性上、隣近所がやや離れており防犯上問題があるのではとの声が出ていたことから、平成21年に“石積防犯パトロール隊”を発足しました。町内会役員や消防団員等が青色回転灯装備車を活用し地道なパトロールを続け、その活動が認められ平成25年には宮城県警より表彰を受けました。また、平成13年の石積トンネル開通に伴う道路交通量増加に対応すべく交通安全対策にも力を入れており、今年は地区内に注意喚起看板を設置しました。

石積町内会

会長 菊地 清 さん
会員数 45世帯 (36戸)

防犯・交通安全対策には積極的に取り組んでいますので、今後の課題は防災対策だと感じています。最近、各地で大雨を原因とする土砂災害や水害が発生しており、山と川がある石積地区も被災の危険性がありますので、早期に防災体制を整備する等、安心安全な地域づくりをしたいです。

地域づくりのためには、住民の“顔”が見えることが重要ですが、近年、“顔”が見える町内会行事が少なくなっていました。そこで、過去に開催されていた夏祭り交流会の復活を企画し、今年は再開後の第3回目を行いました。若い人達も実行委員となる手作りの祭りは老若男女の“顔”が見える貴重な場になっています。

町内会活動に全員が集まることは難しいですが、工夫を凝らし、地域の声にこたえ、満足度の高い町内会にしたいと思います。

